



田んぼの生き物調査が行われました！！(多面的機能支払交付金)



西総土地改良区管内(坂東市長須)の長須西部地区地域資源保全協議会は、多面的機能支払交付金を活用して農村環境に対する理解・興味の促進や、水路等での事故防止の啓発を目的として、地元小学生を対象とした「田んぼの生き物調査」を平成19年度より実施しています。

今年度は、平成26年7月14日坂東市立長須小学校の4年生約40名を対象に田んぼの生き物調査が行われました。当日は、西総土地改良区および、長須小学校・母の会・PTA、地元消防団、茨城県自然博物館と様々な方々のご協力のもとにおこなわれ、怪我や事故も無く無事に終わることができました。県西農林事務所土地改良部門及び、境土地改良事務所も広報活動の一環として水質調査について説明しました。今回の調査では、PH(酸性かアルカリ性を示す度合い)や、COD(水の汚れの度合い)などを測定しました。水質についてPHは中性、CODは少し汚れている水質で、魚が棲める水質ということがわかりました。また、茨城県自然博物館の学芸員の方から生き物の扱い方や、生き物の大切さについてのお話がありました。

子供達は、田んぼの生き物にふれあうことができ、楽しかったとの声が上がっていました。



○西総土地改良区 間中事務局長より、今回使用する道具について説明がありました。小学生達は熱心に聞いていました。

○生き物の採取の様子
※調査時は消防団や保護者の方が付き添い、安全を確保しています。



○採取した生き物を観察し、記録シートに生き物の種類や大きさなどを記録し、農村環境への興味促進を図ります。

○大きな鯉が捕れました。子供達は、興味津々です。

○水路には、深いところもあるので、必ず大人の方と一緒に生き物の採取を行いましょう。